

十日罷工團は罷業本部を吾嬭町説教所に移したり。

然るに此に同問題をして促進せしむるに有力なる動因となりしは、東京鐵工組合幹部が同職者、殊に其首盟たる泉忠の立場に同情したると、時恰も事業界の不況は又大崎方面に於て解雇者續出せん形勢なるため、足立工場に於て無條件の減首行はれんか、他工場にても同様の事實の續出すべきを憂へ、此際寧ろ足立工場職工に徹底的聲援を與へて其減首を喰止め、他工場に對する豫防たらしめんと企圖し、十日夜南品川の本部に緊急幹部總會を開き、泉の出席を求めて狀勢を聴取し

一、足立工場職工の組合加入を承認し足立支部を設立せしむること

二、足立支部の争議に對し全力的應援を與ふること

の二ヶ條を決議したり、東京聯合會に容れられず、而して解決の望みを失へる足立工場の職工が、此決議を如何に欣喜せしかは想像に餘りあり、翌十一日吾嬭町説教所に於て足立支部發會式を擧げたるが此日は別記日鐵會社が九十名の減首を通告せると同日なりき。

### △最後の交渉と連判帳

十二日泉外四名の交渉委員は、足立所長を訪問し、解雇手當支給方につき交渉したるに、足立氏は言下に「そんな金は今迄一錢だつて出した事はない」と拒否したりと。茲に於て一同は罷業本部に歸

來して總會を開き、「最早取るべき手段は盡きたれば此上は、訴訟に依て解雇手當を要求せんと欲す、賛成者は記名調印されたし罷業團は只今限り解散すべし」と泉より報告したる上一同は別記訴訟委任狀を認めたり。

### 委 任 狀 (原文のまゝ)

私等儀今回の足立機械製作所不當解雇事件に付法律的行爲の一切を委任す

青野正雄 鈴木静美 細谷甚之助 玉田孝太郎 井口清太郎 井坂敬 木川千明 坂井良助 藤田房一 小林吉太郎 鈴木直 小山内寅次郎 石井幸藏 大橋定吉 諸橋惣吉 永井嘉久治 佐藤半三郎 中村森之助 伊藤廣治 正木利章 高木留男 望月源治 小島半三郎 加藤留男 小林御代治 小田太市 小林伊三郎 藤木寅之助 寺島進 川崎甚一 増子四郎 下川原泰藏 谷風登 西澤義近 泉留吉 黒羽真一郎 横山三之助 山田國治 篠原善三郎 赤澤新助 阿部幸輔 佐山諒郎 松山金作 幸松雄 濱谷菊次郎 寺田重吉 藤井三之助 鈴木佐之助 宮田秀雄 高橋大吉 九十名の罷業職工中、此日まで結束せるは右五十名に過ぎざりしなり。

折柄別室に警戒中の刑事等も、此解散の聲を耳にして、事件も事なく終りしかと思意せしに、圖らざりき此時こそ「午後五時半、一同曳船驛に集合すべし、決行」と書したる小紙片は、職工等の手よ